

## 2 漁船が魚の状況に注意しながら航行を続け、漂泊中の漁船と衝突

**事故の概要**：A 船（漁船、9.7 トン、2 人乗組み）が南進中、B 船（漁船、2.0 トン、1 人乗組み）は漂泊中、15 時 30 分ごろ、両船が衝突した。  
船長 B が左腎動脈損傷を受傷し、失血死に至った。

### 事故の経過

A 船

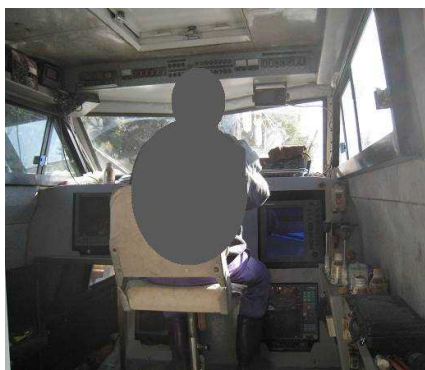
B 船

船長 A は、約 14~15 ノット (kn) の対地速力で手動操舵により、陸岸に沿って南進した。

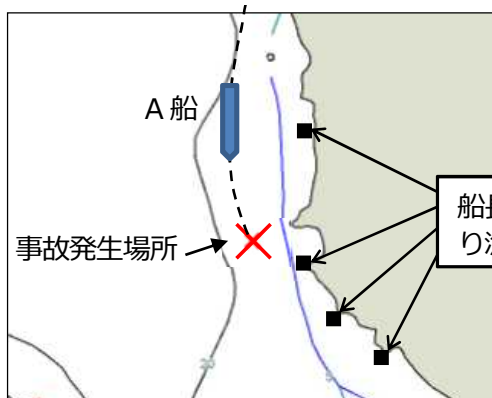
船長 A は、レーダーを 2、3 回確認したものの、左舷前方の素潜り漁船との距離が近くなってからは、**左舷側の海面を見て素潜り漁の状況に注意して航行し、船首方の B 船に気付かなかった。**

船長 B は、漂泊しながらかごを揚収中、接近する A 船を認め、機関を全速力前進として避航措置をとった。

A 船の船首部と B 船の左舷中央部とが衝突



船長 A の操船状況（再現）



事故発生場所付近概略図

**原因**：本事故は、A 船が南進中、船長 A が目視により左舷側近くの素潜り漁の状況を注意しながら航行を続けたため、船首方の B 船に気付かず、B 船と衝突したものと考えられる。また、B 船が漂泊しながらかごを揚収中、船長 B が、接近する A 船を認め、機関を全速力前進として避航措置をとったものの、A 船と衝突したと考えられる。

### 再発防止に向けて（事故の防止対策）

・特定のものに注意し過ぎると、周囲の他船等を見逃してしまうことがあるので、常時、周囲の見張りを適切に行うこと。

本事例の調査報告書は当委員会ホームページで公表しています。（2020（令和 2）年 6 月 25 日公表）

[https://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2020/MA2020-5-44\\_2019ns0092.pdf](https://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2020/MA2020-5-44_2019ns0092.pdf)